

令和6年度 学校関係者評価委員会

札幌市立大谷地東小学校
2025/3/24

- 今年度の重点目標
「進んで取り組み 心豊かに高め合う子」～やってみよう自分から やりとげよう仲間とともに～
- 評価のポイント
1) 創意ある教育の推進 2) 子どもを育てる活動 3) 研修活動の充実 4) 安心安全な学校づくり
5) 教育活動を支える環境づくり
- 自己評価 A よい(85%以上達成) B だいたいよい C もうすこし(達成度60%以下)

分野	評価項目	自己評価	成果と課題	改善の方策	評価の適切さ	改善策の適切さ
① 重点目標	1 「やってみよう自分から、やりとげよう仲間とともに」を意識が、子どもの具体的な姿として表れているか。	B	目指す子どもの姿を共有しながら教育活動を考え進めてきた。また、その活動が子どもたちにとって必然性をもたせ、やる気をもたせる活動となるよう進めてきた。	子どもたちに委ねて考えさせる場面を意図的に設けていく。	A	A
	2 「子ども一人一人が『自分が大切にされている』と実感できている」ことが、子どもの具体的な姿として表れている。	B	どの教職員も同じ指導・関わりができるよう、子どもたちの様子を共有することを大切に。学年を超えて交流する機会も意図的に増やし、子ども同士の関わりを増やす。	子どもたちに委ねるところは委ねるが、丁寧な関わりと、見守っているという安心感をもたせられるようにしていく。	A	A
学校関係者による意見 ・子どもたち一人一人、自分の考えを話し、また聞く側も耳を傾ける姿勢が印象的であった。 ・目標や理想は高くよいと感じている。伸びしろを感じるし、成長意欲がなくなることはないことは大切なことだと思う。 ・先生たちは、とてもよく努力していることが伝わってくる。						
② 学ぶ力の育成	3 学習や生活の中で人の話をしっかり聞くことができるか。	A	どの学年でも、話している人を大切に、「アイコンタクト」で聞くという姿勢が見られている。	「しっかり聞く」ということが、「アイコンタクト」だけでなく、「聞いてもらう」経験を積み重ね、相手を大切にしながら聞く姿勢を高めていく。	A	A
	4 日々の授業を通して、進んで学びに向かう姿勢が見られているか。	A	1時間の学習の課題を明確にし、子どもたちが見通しをもって学ぶことで、自ら課題に向かう姿勢はどの学年でも定着している。	進んで学ぶ姿勢はあるが、「進んで考えを表現する」という姿勢を高めるために、伝え合うことの良さを実感できるような授業を構築していく。	A	A
	5 ICTを学習に活用することで、子ども一人一人の学びを深めることができるか。	B	「調べる」だけでなく、自分の考えを発信する手立てとしてクロームブックの活用ができた。	90%以上の子どもたちが、ICTの活用により学びの深まりを感じているが、教師の評価は63%と差がある。よりよい活用のために、研修などを設けていく。	A	A
	6 全校研(授業づくり・授業参観・研究討議)や校内のミニ研修の内容は、教職員の学びの場として機能しているか。	A	日々の授業改善のため研修を実施したり、全教員で一つの授業について協議し、授業づくりをすることができた。	「授業で子どもを育てる」という意識を持ち、日々の授業改善のための研修を設定していく。	A	A
学校関係者による意見 ・クロームブックの活用については、質問、スライドショー等、多くのことができるという面で画期的と感じた。 ・日々のバージョンアップは今後も必要不可欠なことなので、継続して取り組む姿勢を大切にしてほしい。						
③ 豊かな心の育成	7 運動会や学習発表会などの行事に、一生けん命取り組んでいるか。	A	子どもたち一人一人の目的・目標をはっきりとさせ、楽しみながら達成感をもたせることができた。	目指す子どもの姿を共有し、行事の後の振り返りを大切にしながら進めていく。	A	A
	8 異学年交流に楽しく参加し、他者と関わろうとしているか。	A	異学年の「スマイル活動」を通して、役割を果たしたり「つながり」を深めたりする姿が見られた。	「つながり」の中で感じる一体感や達成感を感じさせることで、「自分が大切にされている」時間を高めていく。	A	A
	9 委員会活動やクラブ活動に進んで参加し、友達と協力して取り組んでいるか。	A	子どもたちの考えや「やってみよう」を引き出し、友達と協力しながら活動する達成感をもたせることができた。	互いを認め合い助け合う心をさらに育てるよう、活動の時間を大切にしていきたい。	A	A
	10 係活動や当番活動にしっかり取り組んでいるか。	A	子どもたちの発想を大切に係活動を行うことで、達成感や「もっと〇〇したい」を引き出すことができた。	役割を果たそうとする子どもたちの姿勢を認め、自己肯定感を高めていく。	A	A
	11 朝読書など、本に親しんでいるか。	B	「登校したら落ち着いて読書」は定着している。	学校では本に親しむ姿が見られているが、学習に結びつけた本を紹介したり、本を整備することでさらに本への興味関心を高めていく。	A	A
	12 進んで挨拶をしているか。	A	「がんばり週間」があることで、挨拶の意識は高まっている。週間ではないときも、6年生が自ら進んで挨拶をする姿があり、他学年にも挨拶の広がりが見られた。	子ども同士、教職員、保護者、地域の方、誰に対しても挨拶をすることが当たり前になるよう大人が範を示していく。	A	A
	13 自分や周りの人を大切に、みんなと仲良く過ごしているか。	A	自分の言動が相手にどう捉えられるか、個別に指導し関わることも大切に、相手を思いやる心を育むことができた。	学習時間だけでなく、生活の中で交わす言葉も、相手を思い温かい言葉となっているか継続して指導していく。	A	A
	14 いじめは絶対にいけないことだという認識をもっているか。	A	日々の指導や、道徳の学習を通して、「いじめは絶対にいけない」という意識を高めることができた。	自分の行動が相手を傷つけてしまうこともあることや、どんな理由があってもいじめはいけないことという指導を継続していく。	A	A
学校関係者による意見 ・どの学年の子も、廊下ですれ違う時に必ず挨拶をしてくれて、とても気持ちよく、日頃から挨拶がなされていることだと感じている。						
③ 健やかな体の育成	15 休み時間に、進んで外で遊んだり活動しているか。	A	バスケットゴールやグローブ、竹馬、ストラックアウトなど環境を整備することで外で遊ぶ子どもたちが一層増えてきた。子どもの声で環境整備をすることで体を動かす原動力につながった。	環境整備を継続しながら、子どもたちが体を動かす機会を増やしていく。	A	A
	16 学校のきまりを意識して生活しているか。	A	時間を守ったり、校内で安全に過ごすことの大切さを全職員で共有して指導することで、子どもたちの意識を高めることができた。	決まりを守ることの良さ、大切さが伝わるような指導を続け、子どもたち自らが意識できるようにしていく。	A	A
学校関係者による意見 ・冬季での運動につなげる努力が見えた。これから太陽の光をたくさんあびて健康な身体づくりができるような機会を作ってほしい。 ・大谷地東小学校の伝統として残すところ、そして温かい子どもたちの挨拶がしっかり行える姿、子どもたちの様子から感じられた。						